

デルタ航空、2022年第4四半期および通年の業績を発表

- 第4四半期は2桁の営業利益率を達成し、EPSは予測値を上回る
- 2023年第1四半期の収益は2019年比でさらに回復が加速する見込み
- 2023年の利益とキャッシュフローは引き続き大幅な伸びが予測され、EPSは5~6ドル、フリーキャッシュフローは20億ドル以上になる見込み

【米国アトランタ、2023年1月13日】 - デルタ航空（NYSE: DAL）は、2022年12月を期末とする第4四半期と2022年通年の業績、および2023年第1四半期予測を発表しました。GAAP基準および調整済みの結果を含む、デルタ航空の2022年第4四半期および通年の業績を5ページに記載いたします。概要は以下のとおりです。

デルタ航空の最高経営責任者、エド・バステアン（Ed Bastian）は次のように述べています。「デルタ航空の従業員は困難な2022年にあっても業界をリードする運航の信頼性、業績を達成しました。このため、5億ドル以上を来月のプロフィットシェアリング（従業員向け利益分配プログラム）に拠出する予定です。2023年を迎え、空の旅に関連する業界の状況は引き続き好調で、デルタ航空は利益およびフリーキャッシュフローの大幅な伸びを期待しています。2023年の売上は15~20%の増加を予想しており、昨年と比べて単位費用（ユニットコスト）も改善する見込みです。その結果、通年の利益予測は1株当たり5~6ドルとなり、2024年に7ドル以上の利益という目標達成に向けて順調に進んでいます。」

2022年10月~12月期のGAAP業績結果

- 営業収益は134億ドル
- 営業利益は15億ドル、営業利益率は10.9%
- 税引前営業利益は11億ドル、税引前営業利益率は8.3%
- 1株当たりの利益は1.29ドル
- 営業活動によるキャッシュフローは12億ドル
- 負債とファイナンスリースの債務支払い合計は2億8500万ドル

2022年10月~12月期の調整済み業績結果

- 営業収益は123億ドルで2019年の同四半期と比べて8%増加
- 営業利益は14億ドル、営業利益率は11.6%
- 税引前営業利益は12億ドル、税引前営業利益率は10.1%
- 1株当たりの利益は1.48ドル
- 営業活動によるキャッシュフローは12億ドル

2022 年通年の GAAP 業績

- 営業収益は 506 億ドル
- 営業利益は 37 億ドル、営業利益率は 7.2%
- 税引前営業利益は 19 億ドル、税引前営業利益率は 3.8%
- 1 株当たりの利益は 2.06 ドル
- 営業活動によるキャッシュフローは 64 億ドル
- 負債とファイナンスリースの債務支払い合計は 45 億ドル
- 年末時点の負債とファイナンスリースの債務合計は 230 億ドル

2022 年通年の調整済み業績

- 営業収益は 456 億ドルで 2019 年と比べて 2%減少
- 営業利益は 36 億ドル、営業利益率は 7.8%
- 税引前営業利益は 27 億ドル、税引前営業利益率は 5.9%
- 1 株当たりの利益は 3.20 ドル
- 営業活動によるキャッシュフローは 62 億ドル
- フリーキャッシュフローは 2 億 4400 万ドル
- 年末時点の流動性資産*は 94 億ドルで、調整済み純負債は 223 億ドル

*現金と現金同等物、短期投資およびリボルビング与信枠残高を含む

2023 年第 1 四半期（1 月～3 月期）と通年の業績予測¹

	2023 年第 1 四半期予測	2023 年通年予測
収益合計	2019 年比で+14% - 17%	前年比で+15% - 20%
営業利益率	4% - 6%	10% - 12%
一株当たり利益	\$0.15 - \$0.40	\$5 - \$6

¹ 非 GAAP 指標。比較値は非 GAAP 調整を参照

財務モデルの追加指標は ir.delta.com に掲載された四半期業績の補足情報部分を参照ください。

収益環境と予測

デルタ航空の社長、グレン・ホーエンスタイン（Glen Hauenstein）は次のように述べています。「業界をリードする運航と最高クラスのサービスによって、2022 年は高い顧客満足度スコアとブランド力向上を達成することができました。2022 年中にデルタ航空は、前年比 19 億ドル増の 456 億ドルの調整済み収益を達成しました。これは、業界平均値に比べて 110%以上の高収益を維持する見込みの過去最高の単位収益（ユニット・レベニュー）によるものです。2023 年も堅調な需要動向によって、この活況は継続すると考えています。第 1 四半期は 2019 年比で 1%の輸送容量減が予想されていますが、調整済み収益は 14～17%増加する見込みです。」

- **堅調な消費者需要**：第 4 四半期全体で需要が堅調だったため、米国内線の旅客収益合計が 2019 年同四半期に比べて 7%増加し、国際線の旅客収益も 5%増加しました。
- **法人予約が安定**：第 4 四半期中の米国内の法人向け売上*は 2019 年の 80%のレベルまで回復しました。最近の企業向け調査結果によると、企業の 96%が 2023 年第 1 四半期中の航空機利用による出張ニーズは今期と同様または増加すると回答しています。
- **プレミアムプロダクトの収益増が継続**：プレミアムプロダクト（デルタ・ワン、デルタ・プレミアムセレクト、デルタ・コンフォートプラスなど）の収益は 2019 年に比べて 13%増加し、メインキャビンの収益成長率よりも 8 ポイント高くなっています。

*法人向け売上には法人契約顧客向けチケット売上が含まれており、当該期間とそれ以外のチケットも含まれています。

- **アメリカンエクスプレスからの収益が目標値超え**：第4四半期の収益は15億ドルで、2019年同期比で約40%の増加でした。2022年通年で約55億ドルとなり、当初目標の50億ドルを超えました。第4四半期の提携クレジットカードの使用額は2019年同期比で45%増加し、新規会員数は2019年のレベルを超えました。

コストパフォーマンスと予測

デルタ航空の最高財務責任者、ダン・ジャンキ（Dan Janki）は次のように述べています。「輸送容量の回復が段階的に進んだことで、第4四半期のユニットコストのパフォーマンスは前期に続き改善しました。2023年には路線ネットワークの再構築を完了し、年間を通してスケールメリットの実現と効率化を行いたいと考えています。これにより、人件費増を考慮した上で燃料以外のユニットコストを前年比で2~4%削減する見込みです。

第1四半期の燃料以外のユニットコストは前年比で3~4%増加することが予想されています。これは四半期全体での人件費増加と、夏の繁忙期に向けた路線ネットワーク再構築によるものです。第1四半期と通年の予測は、予想される人件費増を含めて、12月14日に投資家向けに提供したコストフレームワークから変化しておりません。」

2022年第4四半期のコストパフォーマンス

- 第4四半期の営業経費は120億ドル、調整済み営業経費合計は109億ドル
- 第4四半期の燃料を除く調整済み経費は78億ドル
- 第4四半期の燃料を除くCASMは、2019年同期より9%少ない輸送容量（冬季の天候不良による影響分1ポイントを含む）で13%増加。
- 調整済みの燃料費は28億ドル、2019年同期比で40%増加
- 精油所による利益分30セントを含む1ガロン当たり調整済み燃料費は3.20ドル
- 1,000ASM当たりのガロン数として定義される燃料効率は14.6で、2019年と比べて4.1%改善

2022年通年のコストパフォーマンス

- 2022年通年の営業経費は469億ドル、調整済み営業経費合計は420億ドル
- 2022年通年の燃料を除く調整済み経費は300億ドル
- 通年の燃料を除くCASMは、2019年と比べて15%少ない輸送容量で18%増加
- 調整済みの燃料費は115億ドル、2019年と比べて35%増加
- 精油所による利益分23セントを含む1ガロン当たり調整済み燃料費は3.36ドル
- 1,000ASM当たりのガロン数として定義される燃料効率は14.6で、2019年と比べて4.2%改善

バランスシート、キャッシュと流動性

デルタ航空の最高財務責任者、ダン・ジャンキ（Dan Janki）は次のように述べています。「2022 年中はプラスのフリーキャッシュフローを達成し、3 四半期で 2 桁の営業利益率をあげることができ、財務基盤を大幅に回復しました。これにより 2022 年中に合計 45 億ドルの負債を支払い、バランスシートを強化することができました。2023 年には 20 億ドル以上のフリーキャッシュフロー創出、負債のさらなる減少を予定しており、2024 年には投資グレード指標を達成する見込みです。」

- 当四半期末の調整済み純負債は 223 億ドル、加重平均利率は 4.7%で 83%が固定金利の負債、17%が変動金利の負債
- 当四半期中の負債とファイナンスリースの債務返済額合計は 2 億 8500 万ドルで、年初からの返済額合計は 45 億ドル
- 当四半期中の営業によるキャッシュフローは 12 億ドルで、資本支出合計は 21 億ドル
- 2022 年通年の営業によるキャッシュフローは 62 億ドルで、資本支出合計は 60 億ドル、フリーキャッシュフローは 2 億 4400 万ドル
- 2022 年末時点でのエアートラフィックライアビリティは 83 億ドルで、2021 年末と比べて 19 億ドル増加
- 流動性資産は 94 億ドル（29 億ドルのリボリング与信枠残高を含む）

2022年第4四半期と通年のその他概要

運航の信頼性

- 北米で最も定時運航率の高い航空会社としてシリウム社からプラチナ賞（Cirium Platinum Award）を受賞しました。これは運航によるお客様への影響を最小限に抑えながら、定時運航を達成したデルタ航空従業員の貢献が評価されたものです。
- 第4四半期中は最も定時運航率の高い航空会社になりました。クリスマス休暇中は2022年で最も影響の大きかった天候災害に見舞われましたが、10月、11月、12月*は競合他社よりも高い定時運航率を達成しました。
- デルタ航空の路線ネットワークは通年で、コンプライアンスファクター、定時到着率（0分）、定時到着率（14分以内）、定時出発率（0分）で競合他社をリードし、トップにランクされました。**

企業カルチャーと人材

- 2022年中のデルタ航空従業員の優れた業績に報いるため、9万人の社員に対して5億6300万ドルを2022年分のプロフィットシェアリング（従業員向け利益分配プログラム）に、6100万ドルを、シェアード・リワード（目標達成時に供与される報酬）に拠出しました。
- フォーブズ誌が毎年発表している「世界最も優れた雇用主（World's Best Employers）」で、全体で第6位、航空会社ではトップに選出されました。
- デルタ航空従業員のを支援するファンド、デルタ・ケア・ファンド（Delta Care Fund）の長期的な維持のために目標額3000万ドルの募金キャンペーンを開始しました。
- 人材募集戦略を拡大し、退役が2年以内に迫っている軍の現役パイロットに対して、条件付きでの募集を開始しました。
- 2023年も5年連続で健康保険料据え置きを発表しました。
- 慈善団体ハビタット・フォー・ヒューマニティ（Habitat for Humanity）への協力により、デルタ航空のボランティアが建築または改装した家の合計数は279件に達しました。

カスタマーエクスペリエンスとロイヤルティ

- CESにおいて高速で無制限の無料Wi-Fiを提供すると発表しました。スカイマイル会員に登録すると、2023年2月1日からほとんどの米国内主要路線で利用できるようになります。
- 旅のあらゆる場面でパーソナライズされたエクスペリエンスを提供し、顧客エクスペリエンスを向上するためのデルタ・シンク（Delta Sync）を発表しました。
- ブランド・アフィニティ（親和性）の向上と高い運航信頼性により、2022年のネット・プロモーター・スコア（NPS）は2019年を上回りました。
- 2022年中に、史上最高となる850万人が新たにスカイマイル会員に登録しました。アメリカンエクスプレスとの提携クレジットカードの新規会員は120万人となり、史上最高を更新しました。
- 2022年中にA321neo、A220-300、A330-900、A350-900型機の新機材と、機齢の若いボーイング737-900ER型機など、69機の航空機が納入されました。
- 12年連続でビジネス・トラベル・ニュース誌のエアライン調査で第1位に選ばれ、コンデナスト・トラベラー誌の読者にも米国のトップエアラインとして選ばれました。
- 航空業界メディア「ザ・ポイント・ガイ」のリーダーズ・チョイス・アワードで、北米航空会社の中で「ベスト・ロイヤルティプログラム」と「ベスト・エアポートラウンジ」を獲得しました。また、アメリカンエクスプレスとの提携クレジットカードが、「ベスト・エアライン提携クレジットカード」に選ばれました。
- フリークエント・トラベラー・ピープルズ・アワード（Frequent Traveler People's Awards）の5つのカテゴリーにおいて、スカイマイル・プログラムが南北アメリカでトップのロイヤルティ・プログラムに選ばれました。
- ロサンゼルス国際空港のデルタ・スカイウェイ（Delta Sky Way）の工事の最終フェーズを開始し、シカゴ・オヘア空港では新たなデルタスカイクラブを開設しました。

環境、社会、およびガバナンス

- 機材の入れ替えやその他の取り組みによって、2022年の燃料効率は2019年比で4.2%改善しました。
- 機材の変更、着陸手順の見直しと運航ルートや速度の最適化を含むデルタ航空のカーボン・カウンシルの取り組みにより、2022年中に1000万ガロン以上の燃料を削減しました。
- アエロ・デザイン研究所（Aero Design Labs）と提携し、さらに排気ガスを軽減するための新たなドラッグ（引きずり）軽減技術をテストしています。
- アメリカン・ソサエティ・オブ・トラベル・アドバイザー（American Society of Travel Advisors）から旅行におけるグリーン・パートナー賞を授与されました。
- センター・フォー・アビエーション（Centre for Aviation）から、2022年に北米で最も環境サステナビリティに配慮したエアライン賞を受賞しました。
- 70%以上の役員グループが人種平等に関するトレーニングに参加しました。

*2022年10月1日～12月31日までのデルタ航空フライトシステム全体でのFlightStats予備データ対象データセット（AA、UA、B6、AS、WN、DL）との比較結果に基づく。定時はA0と定義される。

**2022年1月～9月までのUS DOT ATCRと、2022年10月1日～12月31日までのデルタ航空フライトシステム全体でのFlightStats予備データ対象データセット（AA、UA、B6、AS、WN、DL）との比較結果に基づく。

2022年第4四半期の業績

第4四半期の業績は主としてサードパーティの精油所売上、投資含み損、負債償還による損失、注Aに記載された理由により調整されています。

	GAAP		調整済み		GAAP		調整済み	
	4Q22	4Q19	4Q22	4Q19	2022年	2019年	2022年	2019年
(株式データを除き単位は百万ドル)								
営業利益	1,470	1,399	1,422	1,423	3,661	6,618	3,566	6,636
営業利益率	10.9%	12.2%	11.6%	12.5%	7.2%	14.1%	7.8%	14.2%
税引前利益	1,120	1,397	1,242	1,417	1,914	6,198	2,703	6,214
税引前利益率	8.3%	12.2%	10.1%	12.4%	3.8%	13.2%	5.9%	13.3%
純利益	828	1,099	950	1,098	1,318	4,767	2,053	4,776
一株当たり希釈利益	1.29	1.71	1.48	1.70	2.06	7.30	3.20	7.32
営業収益	13,435	11,439	12,292	11,384	50,582	47,007	45,605	46,718
有効座席マイル当たりの売上合計（TRASM）（セント）	22.58	17.47	20.66	17.39	21.69	17.07	19.55	16.97
営業経費	11,965	10,040	10,871	9,961	46,921	40,389	42,039	40,082
燃料以外の費用			7,821	7,590			30,024	29,962
有効座席マイル当たりのコスト（CASM）（セント）	20.11	15.34	13.14	11.59	20.12	14.67	12.87	10.88
燃料費	2,849	2,012	2,778	1,983	11,482	8,519	11,453	8,477
1ガロン当たりの平均燃料価格	3.28	2.01	3.20	1.99	3.36	2.02	3.36	2.01
営業キャッシュフロー	1,189	969	1,211	837	6,364	8,425	6,210	8,476
資本支出	2,200	1,072	2,113	954	6,366	4,936	6,008	5,306
負債とファイナンスリースの債務合計	23,030	11,160			23,030	11,160		
調整済み純負債			22,303	10,489			22,303	10,489

デルタ航空について

デルタ航空（NYSE: DAL）は心のこもった温かみのあるサービスとイノベーションの力で、お客様一人ひとりに合った旅の形を追求しています。毎日 4,000 便以上のデルタ航空便が 6 つの大陸、275 都市以上の人々をつなぎ、デルタ航空の 9 万人以上の従業員が世界トップクラスの顧客エクスペリエンスを提供しています。

デルタ航空は毎年 2 億人以上のお客様にサービスを提供しており、業界をリードする優れた顧客エクスペリエンス、安全性、イノベーション、運航の信頼性を誇り、北米で最も定時運航率の高い航空会社として認められています。デルタ航空は、お客様が望む路線を提供し、一人ひとりに合わせた、楽しい旅を実現するために尽力しています。そして旅のあらゆる場面ですべてのお客様を温かくもてなし、大切に接すること、それが私たちデルタ航空の揺るぎない信念です。

アトランタに本拠地を置くデルタ航空は、アムステルダム、アトランタ、ボストン、デトロイト、ロンドン（ヒースロー）、ロサンゼルス、メキシコシティ、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク（JFK およびラガーディア）、パリ（シャルルドゴール）、ソルトレイクシティ、シアトル、ソウル（インチョン）、東京を主要なハブ空港/市場として運航しています。

世界をリードする航空会社として、デルタ航空は世界中の人々やコミュニティ、潜在能力をつなぐことで機会創出、理解促進、可能性拡大を目指しています。

アエロメヒコ航空、エールフランス-KLM、中国東方航空、大韓航空、ラタム航空、ヴァージンアトランティック、ウェストジェットとの画期的で戦略的なパートナーシップにより、デルタ航空は世界中のお客様に、より多くの優れた選択枝を提供しています。

プロフェッショナルで熱心な従業員に恵まれたデルタ航空は、米国で最も受賞歴の多い航空会社で、フォーチュン誌、ウォールストリートジャーナル紙、ビジネス・トラベル・ニュース誌などから高く評価されています。

将来予想に関する記述

弊社の将来的な推定値、期待値、信条、意図、予測、戦略など、歴史的な事実ではないこのプレスリリースにおける記述は、1993 年の証券法とその改定版、1934 年の証券取引法とその改定版、1995 年私募証券訴訟改革法で定義されている「将来予想に関する記述」と見なす必要があります。この種の記述内容は保証されておらず、成果を約束するものではありません。すべての将来予想に関する記述には複数のリスクと不確定要素が関連しており、将来予測に関する記述で反映または示唆された推定値、期待値、信条、意図、予測、目標、願望、コミットメント、戦略と大きく異なる場合があります。実績と将来予想に関する記述の間に相違を発生させる危険性および不確実性には、新型コロナウイルスによるパンデミックが弊社事業に及ぼす深刻な悪影響、パンデミックへの対応のための多額の負債、弊社の融資契約における財務その他の条項の違反、弊社または弊社のパートナー企業の航空機が関与する事故によって発生する可能性のある影響、弊社が依存している技術システムとそこに保存されているデータのセキュリティ侵害または不備、常に進化する全世界のプライバシーおよびセキュリティ規制へのコンプライアンス、弊社の情報技術インフラストラクチャの中断、弊社の運営上の技術依存度、他国の航空会社とのビジネス上の関係および当該企業への投資、弊社が依存している第三者の業務上または経営上の深刻な中断による影響、無形資産または長期資産を完全に活用できない状況、労働問題、天候、自然災害、季節性による弊社事業への影響、航空機燃料費の変動、航空燃料の長期的な供給停止（デルタ航空の完全子会社である Monroe Energy, LLC（「モンロー」）からの供給を含む）、モンローレーナー精油所での大規模な損害賠償に対する保険適用能力の欠如、再生可能燃料標準規制遵守に関連するコストなど、モンロー精油所が既存および将来的な環境規制に違反したことによる影響、弊社の経営陣およびその他主要な社員および企業カルチャーを維持する能力、企業としての評判やブランドが大きく棄損される行為（大規模な非難や中傷のリスクや特定の持続性目標達成失敗など）、テロ攻撃や地域紛争、セキュリティ事象による影響、航空産業における競争状態、弊社が就航している主要空港におけるサービスの長期的な中断または混乱、運用している航空機やエンジンの種類に関連する深刻な問題、弊社事業に対する大幅な行政規制の影響、弊社事業に対する環境規制厳格化（二酸化炭素排出量規制の強化、気象変動関連の他のリスク、環境規制厳格化へのコンプライアンスに伴うコストなど）による影響、弊社が事業を展開している市場の経済状況または政情悪化、外国為替レートの変動がありますが、これらに限定されません。

実績と将来予想に関する記述の間に相違を発生させる、危険性および不確実性に関する追加情報については、2021 年 1 月 1 日～12 月 31 日会計年度の Form 10-K に記載された弊社の年次報告と 2022 年 7 月～9 月期の Form 10-Q に記載された四半期報告など、弊社の米国証券取引委員会関連ファイルに記載されています。なお弊社の将来予測に関する記述は本プレスリリース発行日現在の弊社の観点を示すもので、現時点では法律で定められた場合を除き、更新の意図がないため、過度に依存することのないようご注意ください。

デルタ航空
連結損益計算書
(未監査)

	12月31日までの 3ヶ月間				12月31日までの 1年間			
	2022年	2019年	\$増減	%増減	2022年	2019年	\$増減	%増減
(株式データを除き単位は百万ドル)								
営業収益：								
旅客	\$ 10,889	\$ 10,245	\$ 644	6 %	\$ 40,218	\$ 42,277	\$ (2,059)	(5)%
貨物	248	187	61	33 %	1,050	753	297	39 %
その他	2,298	1,007	1,291	NM	9,314	3,977	5,337	NM
営業収益合計	13,435	11,439	1,996	17 %	50,582	47,007	3,575	8 %
営業経費：								
給与および関連コスト	3,071	3,046	25	1 %	11,902	11,601	301	3 %
航空機用燃料と関連税	2,849	2,012	837	42 %	11,482	8,519	2,963	35 %
付属事業と精油所	1,308	299	1,009	NM	5,756	1,245	4,511	NM
委託サービス	920	742	178	24 %	3,345	2,942	403	14 %
着陸料およびその他償料	570	538	32	6 %	2,181	2,176	5	— %
減価償却	554	622	(68)	(11)%	2,107	2,581	(474)	(18)%
地方路線キャリア費用	504	536	(32)	(6)%	2,051	2,158	(107)	(5)%
航空機メンテナンス材料および外部修理	508	417	91	22 %	1,982	1,751	231	13 %
旅客コミッションおよびその他販売経費	507	542	(35)	(6)%	1,891	2,211	(320)	(14)%
旅客サービス	403	325	78	24 %	1,453	1,312	141	11 %
プロフィットシェアリング	272	387	(115)	(30)%	563	1,643	(1,080)	(66)%
航空機償料	128	105	23	22 %	508	423	85	20 %
再編費用	(118)	—	(118)	NM	(124)	—	(124)	NM
その他	489	469	20	4 %	1,824	1,827	(3)	— %
営業経費合計	11,965	10,040	1,925	19 %	46,921	40,389	6,532	16 %
営業利益	1,470	1,399	71	5 %	3,661	6,618	(2,957)	(45)%
営業外経費：								
支払い利子、正味	(238)	(72)	(166)	NM	(1,029)	(301)	(728)	NM
減損処理および持分法の結果	(12)	(18)	6	(33)%	(20)	(62)	42	(68)%
投資による利益（損失）、正味	(170)	136	(306)	NM	(783)	119	(902)	NM
負債償還による損失	—	—	—	NM	(100)	—	(100)	NM
年金および関連する福利厚生 / (費用)	74	(17)	91	NM	292	(65)	357	NM
雑勘定、正味	(4)	(31)	27	(87)%	(107)	(111)	4	(4)%
営業外経費合計、正味	(350)	(2)	(348)	NM	(1,747)	(420)	(1,327)	NM
所得税引前利益	1,120	1,397	(277)	(20)%	1,914	6,198	(4,284)	(69)%
所得税引当	(292)	(298)	6	(2)%	(596)	(1,431)	835	(58)%
純利益	\$ 828	\$ 1,099	\$ (271)	(25)%	\$ 1,318	\$ 4,767	\$ (3,449)	(72)%
1株当たり基本利益	\$ 1.30	\$ 1.71			\$ 2.07	\$ 7.32		
1株当たり希釈利益	\$ 1.29	\$ 1.71			\$ 2.06	\$ 7.30		
株式発行高基本加重平均	638	642			638	651		
株式発行高希釈加重平均	641	644			641	653		

デルタ航空
旅客収益
(未監査)

(単位：百万ドル)	12月31日までの 3ヶ月間				12月31日までの 1年間			
	2022年	2019年	\$増減	%増減	2022年	2019年	\$増減	%増減
	チケット - Main cabin	\$ 5,398	\$ 5,169	\$ 229	4 %	\$ 20,397	\$ 21,751	\$ (1,354)
チケット - プレミアムプロダクト	4,223	3,753	470	13 %	15,230	15,157	73	— %
ロイヤルティトラベルアワード	825	726	99	14 %	2,898	2,900	(2)	— %
旅行関連サービス	443	597	(154)	(26) %	1,694	2,469	(775)	(31)%
旅客収益合計	\$ 10,889	\$ 10,245	\$ 644	6 %	\$ 40,218	\$ 42,277	\$ (2,059)	(5)%

デルタ航空
その他収益
(未監査)

(単位：百万ドル)	12月31日までの 3ヶ月間				12月31日までの 1年間			
	2022年	2019年	\$増減	%増減	2022年	2019年	\$増減	%増減
	精油所	\$ 1,142	\$ 2	\$ 1,140	NM	\$ 4,977	\$ 97	\$ 4,880
ロイヤルティプログラム	720	519	201	39 %	2,597	1,962	635	32 %
付属事業	182	305	(123)	(40) %	846	1,200	(354)	(30)%
雑勘定	254	181	73	40 %	894	718	176	25 %
その他収益合計	\$ 2,298	\$ 1,007	\$ 1,291	NM	\$ 9,314	\$ 3,977	\$ 5,337	NM

デルタ航空
収益合計
(未監査)

収益	2022年		増(減)			
	第4四半期		2022年第4四半期と2019年第4四半期の比較			
	(百万ドル)		増減	単位収益	イールド	輸送容量
米国内線	\$	8,162	7%	16%	15%	(8)%
大西洋路線		1,540	17%	9%	14%	8%
中南米路線		805	15%	27%	24%	(9)%
太平洋路線		382	(35)%	32%	42%	(50)%
旅客合計	\$	10,889	6%	17%	18%	(9)%
貨物収益		248	33%			
その他収益		2,298	NM			
収益合計	\$	13,435	17%	29%		
サードパーティの精油所売上		(1,142)				
収益合計、調整済み	\$	12,292	8%	19%		

デルタ航空
統計サマリー
(未監査)

	12月31日までの			12月31日までの		
	3ヶ月間		増減	1年間		増減
	2022年	2019年		2022年	2019年	
旅客マイル売上 (百万)	50,476	56,028	(10) %	195,480	237,680	(18) %
有効座席マイル (百万)	59,506	65,468	(9) %	233,226	275,379	(15) %
旅客マイル利回り (セント)	21.57	18.29	18 %	20.57	17.79	16 %
有効座席マイル当たりの旅客売上 (セント)	18.30	15.65	17 %	17.24	15.35	12 %
有効座席マイル当たりの売上合計 (セント)	22.58	17.47	29 %	21.69	17.07	27 %
調整済み TRASM - 注 A 参照 (セント)	20.66	17.39	19 %	19.55	16.97	15 %
有効座席マイル当たりのコスト (セント)	20.11	15.34	31 %	20.12	14.67	37 %
CASM-Ex - 注 A 参照 (セント)	13.14	11.59	13 %	12.87	10.88	18 %
搭乗率	85 %	86 %	(1) pt	84 %	86 %	(2) pts
消費燃料 (百万ガロン)	869	999	(13) %	3,412	4,214	(19) %
1 ガロン当たりの平均燃料価格	\$ 3.28	\$ 2.01	63 %	\$ 3.36	\$ 2.02	66 %
燃料 1 ガロン当たり平均価格、調整済み - 注 A 参照	\$ 3.20	\$ 1.99	61 %	\$ 3.36	\$ 2.01	67 %

デルタ航空
連結キャッシュフロー計算書
(未監査)

12月31日までの

3ヶ月間

(単位：百万ドル)	2022年		2019年	
営業活動によるキャッシュフロー：				
純利益	\$	828	\$	1,099
減価償却		554		622
エアートラフィックライアビリティの変更分		(837)		(647)
バランスシートその他の変更、正味		644		(105)
営業活動によるキャッシュフロー、正味		1,189		969
投資活動によるキャッシュフロー：				
不動産と機材の追加：				
前払い金を含む航空機材		(1,643)		(570)
不動産および技術を含む装置		(557)		(502)
短期投資の購入		(2,129)		—
短期投資の償還		221		—
株式投資の購入		(717)		—
その他、正味		89		293
投資活動に使用したキャッシュフロー、正味		(4,736)		(779)
財務活動によるキャッシュフロー：				
負債とファイナンスリースの債務返済		(285)		(516)
普通株の買戻し		—		(225)
長期債務による収益		—		1,557
配当金		—		(259)
給油カード債務		—		297
その他、正味		(20)		(12)
財務活動によって得た（使用した）キャッシュフロー、正味		(305)		842
現金と現金同等物、制限付き預金の増加／（減少）、正味		(3,852)		1,032
期首時の現金および現金同等物、制限付き預金		7,325		2,698
期末時の現金および現金同等物、制限付き預金	\$	3,473	\$	3,730

以下の表は、連結バランスシートに記載した現金、現金同等物、制限付き預金を、上記に記載した各合計金額と照合したものです。

流動資産：			
現金等価額	\$	3,266	\$ 2,882
前払い費用その他に含まれている制限付き預金		138	212
その他の資産：			
他の非流動資産に含まれている制限付き預金		69	636
現金、現金同等物、および制限付き預金合計	\$	3,473	\$ 3,730

デルタ航空
連結バランスシート
(未監査)

(単位：百万ドル)	2022年 12月31日	2021年 12月31日
資産の部		
流動資産：		
現金等価額	\$ 3,266	\$ 7,933
短期投資	3,268	3,386
売掛金、正味	3,176	2,404
燃料在庫、拡張可能部品および備品在庫、正味	1,424	1,098
前払い費用とその他の項目	1,877	1,119
流動資産合計	<u>13,011</u>	<u>15,940</u>
不動産と機材、正味：		
不動産と機材、正味	<u>33,109</u>	<u>28,749</u>
その他の資産：		
オペレーティングリースの使用権資産	7,036	7,237
営業権	9,753	9,753
識別可能な無形資産、正味	5,992	6,001
株式投資	2,128	1,712
繰延所得税、正味	339	1,294
その他の固定資産	907	1,773
その他の資産合計	<u>26,155</u>	<u>27,770</u>
資産合計	<u>\$ 72,275</u>	<u>\$ 72,459</u>
負債および資本の部		
流動負債：		
負債とファイナンスリース返済	\$ 2,359	\$ 1,782
オペレーティングリースの当期満期分	714	703
エアートラフィックライアビリティ	8,160	6,228
買掛金	5,106	4,240
未払い給与と関連する福利厚生	3,288	2,457
ロイヤルティプログラム繰延収益	3,434	2,710
給油カード債務	1,100	1,100
その他の未払い負債	1,780	1,746
流動負債合計	<u>25,941</u>	<u>20,966</u>
非流動負債：		
負債およびファイナンスリース	20,671	25,138
非流動エアートラフィックライアビリティ	100	130
年金、退職後、および関連する福利厚生	3,843	6,035
ロイヤルティプログラム繰延収益	4,448	4,849
当期満期分以外のオペレーティングリース	6,866	7,056
その他の非流動負債	3,950	4,398
非流動負債合計	<u>39,878</u>	<u>47,606</u>
コミットメントと有事への対応		
自己資本：		
	6,456	3,887
負債および資本合計	<u>\$ 72,275</u>	<u>\$ 72,459</u>

注 A：GAAP に基づかない財務措置の調整内容を下表に示します。また、デルタ航空がそのような措置を講じる理由について、以下に説明します。丸め処理によって計算結果が一致しないことがあります。

デルタ航空では「連結財務諸表」から派生する情報（GAAP に基づかない財務措置）を利用する場合がありますが、それは米国で一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）に従って提示されていません。証券取引委員会の規定に基づき、GAAP に基づかない財務措置は、GAAP に従って準備された結果とともに考慮すべきですが、GAAP の結果に代わるもの、あるいはそれよりも優れたものとして考えるべきではありません。本書で使用している GAAP に基づかない財務措置を、最も類似する GAAP 財務措置と比較した調整内容を下表に示します。

将来予測：以下を含む調整項目は期末まで不明で多額な場合があるため、デルタ航空では GAAP に基づかない財務措置による将来的な調整を容易に行うことができません。

調整：この種の調整には GAAP 指標に対する新型コロナウイルスの影響と弊社の対応に関連する特定の調整を含んでいます。該当する場合、こうした調整は以下のように対象となる期間の比較を容易にするために行っています。

再編費用：2020 年中は機材の減損処理や新型コロナウイルスによるパンデミックに伴う戦略的なビジネス上の意思決定による希望早期退職および定年退職といった項目で再編費用を計上しました。再編費用の一部について 2022 年第 4 四半期中に 1 億 1800 万ドルと 2022 年通年で 1 億 2400 万ドルの純調整を行いました。その結果、予測値が変化しています。

負債の償却による損失：この調整は負債の早期償還に関連するものです。

また以下の項目については以下の理由により適宜特定の GAAP 指標を定期的に調整しています。

サードパーティの精油所売上：サードパーティの精油所売上と関連費用は航空セグメントとは無関係です。したがってこうした売上を除くことは、デルタ航空の航空事業による売上を航空業界の他社と比較する上で有意義なものになります。

Delta Private Jets に関する調整：2020 年 1 月に Delta Private Jets と Wheels Up を統合したため、比較の際は 2019 年の業績から Delta Private Jets の影響を除外しました。

ヘッジの MTM 調整および支払額：評価替え（「MTM」）調整額とは、決算期以外の期間に記録された評価額の変化を指します。こうした評価額の変化は、必ずしも約定取引期間内の基礎となるヘッジの実際の支払額を示すものではありません。したがってこうした影響を排除することで投資家の皆様が弊社の主要な業績を理解・分析しやすくなります。支払額とは該当する期間中にヘッジ契約に対して受領または支払った現金を指します。

投資の MTM 調整：株式投資による未実現損益の評価額を営業外費用に計上しています。損益は株式の価格、外国為替の変動、株式未公開の企業についてはその他の評価方法によっても変動します。投資家の皆様が弊社の主要な業務実績をより良く理解・分析できるように、この種の利益／損失調整を行っています。

株式投資 MTM 調整：投資家の皆様が当該期間中の弊社の主要な業務実績をより良く理解・分析できるように、持分法による被投資会社であるヴァージンアトランティックのヘッジポートフォリオについて弊社株式投資相当分の MTM 調整を行っています（営業外経費として計上）。

航空機用燃料と関連税：燃料価格の変動性は、前年比の財務実績の比較可能性に影響を及ぼします。燃料費や関連税の調整によって、投資家は燃料以外のコストと前年比の財務実績を理解し、分析することができます。

プロフィットシェアリング：利益分配（プロフィットシェアリング）費用の調整によって、投資家の皆様が弊社の経常費用のコストパフォーマンスについて理解・分析しやすくなり、主要な経費を航空業界基準と有効に比較できるようになります。

調整済み営業収益、および調整済み有効座席マイル当たりの収益合計 (TRASM)

(単位：百万ドル)	2022年12月31日 までの3ヶ月間	2019年12月31日 までの3ヶ月間	2019年3月31日 までの3ヶ月間	4Q22と4Q19 の比較 %増減
営業収益	\$ 13,435	\$ 11,439	\$ 10,472	
以下調整済み：				
サードパーティの精油所売上	(1,142)	(2)	(48)	
Delta Private Jets に関する調整	—	(53)	(43)	
調整済み営業収益	\$ 12,292	\$ 11,384	\$ 10,381	8 %

(単位：百万ドル)	2022年12月31日 までの1年間	2021年12月31日 までの1年間	2019年12月31日 までの1年間	FY22とFY19 の比較 %増減
営業収益	\$ 50,582	\$ 29,899	\$ 47,007	
以下調整済み：				
サードパーティの精油所売上	(4,977)	(3,229)	(97)	
Delta Private Jets に関する調整	—	—	(192)	
調整済み営業収益	\$ 45,605	\$ 26,670	\$ 46,718	(2)%

	2022年12月31日 までの3ヶ月間	2019年12月31日 までの3ヶ月間	4Q22と4Q19 の比較 %増減
TRASM (セント)	22.58	17.47	
以下調整済み：			
サードパーティの精油所売上	(1.92)	—	
Delta Private Jets に関する調整	—	(0.08)	
調整済み TRASM	20.66	17.39	19 %

	2022年12月31日 までの1年間	2019年12月31日 までの1年間	FY22とFY19 の比較 %増減
TRASM (セント)	21.69	17.07	
以下調整済み：			
サードパーティの精油所売上	(2.13)	(0.04)	
Delta Private Jets に関する調整	—	(0.07)	
調整済み TRASM	19.55	16.97	15 %

営業利益、調整済み

(単位：百万ドル)	2022年12月31日 までの3ヶ月間	2019年12月31日 までの3ヶ月間
営業利益	\$ 1,470	\$ 1,399
以下調整済み：		
再編費用	(118)	—
ヘッジの MTM 調整および支払額	70	22
Delta Private Jets に関する調整	—	2
営業利益、調整済み	\$ 1,422	\$ 1,423

(単位：百万ドル)	2022年12月31日 までの1年間	2019年12月31日 までの1年間
営業利益	\$ 3,661	\$ 6,618
以下調整済み：		
再編費用	(124)	—
ヘッジのMTM調整および支払額	29	14
Delta Private Jetsに関する調整	—	3
営業利益、調整済み	\$ 3,566	\$ 6,636

営業利益率、調整済み

	2022年12月31日 までの3ヶ月間	2019年12月31日 までの3ヶ月間
営業利益率	10.9%	12.2%
以下調整済み：		
再編費用	(0.9)	—
ヘッジのMTM調整および支払額	0.5	0.2
サードパーティの精油所売上	1.0	0.1
営業利益率、調整済み	11.6%	12.5%

	2022年12月31日 までの1年間	2019年12月31日 までの1年間
営業利益率	7.2%	14.1%
以下調整済み：		
再編費用	(0.2)	—
ヘッジのMTM調整および支払額	0.1	—
サードパーティの精油所売上	0.8	0.1
営業利益率、調整済み	7.8%	14.2%

税引前利益、純利益、および一株当たり希釈利益、調整済み

	2022年12月31日 までの3ヶ月間			2022年12月31日 までの3ヶ月間
	税引前	所得税	純益	利益
	利益			希釈後、一株当たり
(株式データを除き単位は百万ドル)				
GAAP	\$ 1,120	\$ (292)	\$ 828	\$ 1.29
以下調整済み:				
再編費用	(118)			
ヘッジのMTM調整および支払額	70			
投資のMTM調整	170			
GAAPに基づかない	\$ 1,242	\$ (292)	\$ 950	\$ 1.48

	2019年12月31日 までの3ヶ月間			2019年12月31日 までの3ヶ月間
	税引前	所得税	純益	利益
	利益			希釈後、一株当たり
(株式データを除き単位は百万ドル)				
GAAP	\$ 1,397	\$ (298)	\$ 1,099	\$ 1.71
以下調整済み:				
ヘッジのMTM調整および支払額	22			
株式投資MTM調整	(1)			
投資のMTM調整	(3)			
Delta Private Jetsに関する調整	2			
GAAPに基づかない	\$ 1,417	\$ (319)	\$ 1,098	\$ 1.70

	2022年12月31日 までの1年間			2022年12月31日 までの1年間
	税引前	所得税	純益	利益
	利益			希釈後、一株当たり
(株式データを除き単位は百万ドル)				
GAAP	\$ 1,914	\$ (596)	\$ 1,318	\$ 2.06
以下調整済み:				
再編費用	(124)			
ヘッジのMTM調整および支払額	29			
負債償還による損失	100			
投資のMTM調整	784			
GAAPに基づかない	\$ 2,703	\$ (650)	\$ 2,053	\$ 3.20

	2019年12月31日 までの1年間			2019年12月31日 までの1年間
	税引前	所得税	純益	利益
	利益			希釈後、一株当たり
(株式データを除き単位は百万ドル)				
GAAP	\$ 6,198	\$ (1,431)	\$ 4,767	\$ 7.30
以下調整済み:				
ヘッジのMTM調整および支払額	14			
株式投資MTM調整	(14)			
投資のMTM調整	13			
Delta Private Jetsに関する調整	3			
GAAPに基づかない	\$ 6,214	\$ (1,438)	\$ 4,776	\$ 7.32

税引前利益率、調整済み：

	2022年12月31日 までの3ヶ月間	2019年12月31日 までの3ヶ月間
税引前利益率	8.3%	12.2%
以下調整済み：		
再編費用	(0.9)	—
ヘッジのMTM調整および支払額	0.5	0.2
投資のMTM調整	1.3	—
サードパーティの精油所売上	0.9	0.1
税引前利益率、調整済み	10.1%	12.4%

	2022年12月31日 までの1年間	2019年12月31日 までの1年間
税引前利益率	3.8%	13.2%
以下調整済み：		
再編費用	(0.2)	—
負債償還による損失	0.2	—
ヘッジのMTM調整および支払額	0.1	—
投資のMTM調整	1.5	—
サードパーティの精油所売上	0.6	0.1
税引前利益率、調整済み	5.9%	13.3%

営業キャッシュフロー、調整済み：経営陣はこの種の調整を行うことが投資家の皆様にとって有効な判断材料になると考えているため、デルタ航空は調整済み営業キャッシュフローを明らかにしています。

特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー：特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローを、GAAPの営業活動に含んでいます。これらの項目は主として空港建設に限定された現金でまかなわれましたが、これらについて調整することで、提示している期間内の業務に大きく関連する、デルタ航空の営業キャッシュフローについて投資家の皆様がより良く理解できるようになると考えました。

(単位：百万ドル)

	2022年12月31日 までの3ヶ月間	2019年12月31日 までの3ヶ月間
営業活動によるキャッシュフロー、正味	\$ 1,189	\$ 969
調整：		
特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー	22	(133)
営業活動による正味キャッシュフロー、調整済み	\$ 1,211	\$ 837

(単位：百万ドル)

	2022年12月31日 までの1年間	2019年12月31日 までの1年間
営業活動によるキャッシュフロー、正味	\$ 6,364	\$ 8,425
調整：		
特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー	(154)	52
営業活動による正味キャッシュフロー、調整済み	\$ 6,210	\$ 8,476

フリーキャッシュフロー：デルタ航空ではフリーキャッシュフローを提示していますが、これは経営陣が、同指標によって、投資家の皆様が債務返済や全般的な企業活動に利用できる弊社の現金創出能力を評価しやすくなると考えているためです。フリーキャッシュフローは 2022 年のインセンティブ報酬プログラムの一部にも使用しています。フリーキャッシュフローとは営業活動と投資活動による正味現金に対して、(i) 短期投資の償還（正味）、(ii) 戦略的投資およびその関連、(iii) 特定の空港建設プロジェクトおよびその他、(iv) 融資による航空機獲得に関連する調整を行ったものです。この種の調整は以下の理由で行っています。

短期投資の償還（正味）：短期投資の償還（正味）は、収益と損失を含む当期間中の投資および有価証券の正味購入・売却金額を表します。これに伴う調整により、投資家の皆様が営業活動で得たフリーキャッシュフローの状況をより良く理解できると考えたからです。

戦略的投資および関連費用：他の航空会社への投資および関連する取引に関するキャッシュフローは GAAP では投資活動に含まれています。この活動については調整を行うことで、航空業界他社との有意義な比較が行えます。

特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー：特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローを、GAAP の運転支出および資本支出に含んでいます。これらの項目は主として空港建設に限定された現金でまかなわれましたが、これらについて調整することで、提示している期間内の業務に大きく関連する、デルタ航空のフリーキャッシュフローと資本支出について投資家の皆様がより良く理解できるようになると考えました。

航空機取得のための資金調達：この調整は資本支出としてリースされている航空機の納入を反映したものです。調整は当初の契約購入金額または航空機の見積り評価額に基づいており、弊社の投資活動をよりわかりやすくします。

(単位：百万ドル)	2022 年 12 月 31 日	
営業活動によるキャッシュフロー、正味	\$	6,364
投資活動に使用したキャッシュフロー、正味		(6,924)
以下調整済み：		
短期投資の償還（正味）		(100)
戦略的投資および関連費用		701
特定空港の建設プロジェクト等に関連する正味キャッシュフロー		409
航空機取得のための資金調達		(206)
フリーキャッシュフロー	\$	244

調整済み純負債：デルタ航空では金融債務の予測値を提示するために、調整済み負債やファイナンスリースに加え、航空機のレンタル料を含む、調整済み負債総額を採用しています。デルタ航空は調整済み負債合計総額から現金、現金相当物および短期投資、LGA 制限付き現金を減額しています。その結果、調整済み純負債は、負債負担に必要な資本額を示すこととなります。経営陣は同指標により、投資家の皆様が弊社の全体的な負債状況を評価するのに役立つと考えています。

(単位：百万ドル)	2022 年 12 月 31 日		2019 年 12 月 31 日	
負債とファイナンスリースの債務	\$	23,030	\$	11,160
および：売上-リースバック融資負債		2,180		—
および：未償却割引／（プレミアム）および債権発行費用、正味、その他		138		(115)
調整済み負債とファイナンスリースの債務	\$	25,349	\$	11,044
および：7x 型の 12 ヶ月間の航空機レンタル料		3,558		2,963
調整済み負債総額	\$	28,906	\$	14,007
現金、現金相当物、短期投資を除外		(6,534)		(2,882)
LGA 制限付き現金を除外		(69)		(636)
調整済み純負債	\$	22,303	\$	10,489

燃料以外の調整済み費用と燃料以外の単位費用または有効座席マイル当たりの費用 ("CASM-Ex")

(単位：百万ドル)	2022年12月31日 までの3ヶ月間	2019年12月31日 までの3ヶ月間	4Q22と 4Q19 の比較 %増減
営業経費	\$ 11,965	\$ 10,040	
以下調整済み：			
再編費用	118	—	
航空機用燃料と関連税	(2,849)	(2,012)	
サードパーティの精油所売上	(1,142)	(2)	
プロフィットシェアリング	(272)	(387)	
Delta Private Jets に関する調整	—	(49)	
燃料以外の費用	\$ 7,821	\$ 7,590	3 %

(単位：百万ドル)	2022年12月31日 までの1年間	2019年12月31日 までの1年間	FY22と FY19 の比較 %増減
営業経費	\$ 46,921	\$ 40,389	
以下調整済み：			
再編費用	124	—	
航空機用燃料と関連税	(11,482)	(8,519)	
サードパーティの精油所売上	(4,977)	(97)	
プロフィットシェアリング	(563)	(1,643)	
Delta Private Jets に関する調整	—	(168)	
燃料以外の費用	\$ 30,024	\$ 29,962	— %

	2022年12月31日 までの3ヶ月間	2022年9月30日 までの3ヶ月間	2019年12月31日 までの3ヶ月間	2019年9月30日 までの3ヶ月間	4Q22と 4Q19 の比較 %増減
CASM (単位：セント)	20.11	19.87	15.34	13.85	
以下調整済み：					
再編費用	0.20	—	—	—	
航空機用燃料と関連税	(4.78)	(5.26)	(3.08)	(2.96)	
サードパーティの精油所売上	(1.92)	(1.80)	—	(0.01)	
プロフィットシェアリング	(0.46)	(0.38)	(0.59)	(0.68)	
Delta Private Jets に関する調整	—	—	(0.07)	(0.05)	
CASM-Ex	13.14	12.43	11.59	10.15	13 %

	2022年12月31日 までの1年間	2019年12月31日 までの1年間	FY22と FY19 の比較 %増減
CASM (単位：セント)	20.12	14.67	
以下調整済み：			
再編費用	0.05	—	
航空機用燃料と関連税	(4.92)	(3.10)	
サードパーティの精油所売上	(2.13)	(0.04)	
プロフィットシェアリング	(0.24)	(0.60)	
Delta Private Jets に関する調整	—	(0.06)	
CASM-Ex	12.87	10.88	18 %

調整済み営業経費

(単位：百万ドル)	2022年12月31日 までの3ヶ月間		2019年12月31日 までの3ヶ月間	
営業経費	\$	11,965	\$	10,040
以下調整済み：				
再編費用		118		—
ヘッジの MTM 調整および支払額		(70)		(22)
サードパーティの精油所売上		(1,142)		(2)
Delta Private Jets に関する調整		—		(55)
調整済み営業経費	\$	10,871	\$	9,961

(単位：百万ドル)	2022年12月31日 までの1年間		2019年12月31日 までの1年間	
営業経費	\$	46,921	\$	40,389
以下調整済み：				
再編費用		124		—
ヘッジの MTM 調整および支払額		(29)		(14)
サードパーティの精油所売上		(4,977)		(97)
Delta Private Jets に関する調整		—		(196)
調整済み営業経費	\$	42,039	\$	40,082

燃料費合計、1 ガロン当たりの調整済み平均燃料価格

(ガロン当たりのデータを除き単位は百万ドル)	12月31日 までの3ヶ月間		12月31日 までの3ヶ月間		1 ガロン当たりの平均燃料価格			
	2022年		2019年		12月31日 までの3ヶ月間	12月31日 までの3ヶ月間		
	2022年	2019年	2022年	2019年	2022年	2019年		
燃料費合計	\$	2,849	\$	2,012	\$	3.28	\$	2.01
以下調整済み：								
ヘッジの MTM 調整および支払額		(70)		(22)		(0.08)		(0.02)
Delta Private Jets に関する調整		—		(6)		—		(0.01)
調整済み燃料費合計	\$	2,778	\$	1,983	\$	3.20	\$	1.99

(ガロン当たりのデータを除き単位は百万ドル)	12月31日 までの1年間		12月31日 までの1年間		1 ガロン当たりの平均燃料価格			
	2022年		2019年		12月31日 までの1年間	12月31日 までの1年間		
	2022年	2019年	2022年	2019年	2022年	2019年		
燃料費合計	\$	11,482	\$	8,519	\$	3.36	\$	2.02
以下調整済み：								
ヘッジの MTM 調整および支払額		(29)		(14)		(0.01)		—
Delta Private Jets に関する調整		—		(28)		—		(0.01)
調整済み燃料費合計	\$	11,453	\$	8,477	\$	3.36	\$	2.01

資本支出合計：資本支出合計を特定するため、以下に記載した理由で以下の項目の資本支出を調整しています。

航空機取得のための資金調達：資本支出としてリースで取得している航空機の納品を反映するために資本支出を調整しています。調整は当初の契約購入金額または航空機の見積り評価額に基づいており、弊社の投資活動をよりわかりやすくします。

特定空港の建設プロジェクトに関連する正味キャッシュフロー：特定空港の建設プロジェクトに関連するキャッシュフローが資本支出に含まれています。これら空港建設プロジェクトの資本支出の一部は当該プロジェクトに限定された現金、またはサードパーティによる補填分でまかなっていることを投資家の皆様にお伝えすべきだと経営陣が判断したため、こうした項目を調整しています。

(単位：百万ドル)	2022年12月31日 までの3ヶ月間	2019年12月31日 までの3ヶ月間
前払い金を含む航空機材	\$ 1,643	\$ 570
不動産および技術を含む装置	557	502
以下調整済み：		
特定空港の建設プロジェクトに関連する正味キャッシュフロー	(87)	(118)
資本支出合計	\$ 2,113	\$ 954

(単位：百万ドル)	2022年12月31日 までの1年間	2019年12月31日 までの1年間
前払い金を含む航空機材	\$ 4,495	\$ 3,344
不動産および技術を含む装置	1,871	1,592
以下調整済み：		
航空機取得のための資金調達	206	818
特定空港の建設プロジェクトに関連する正味キャッシュフロー	(564)	(448)
資本支出合計	\$ 6,008	\$ 5,306